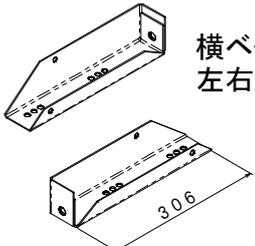
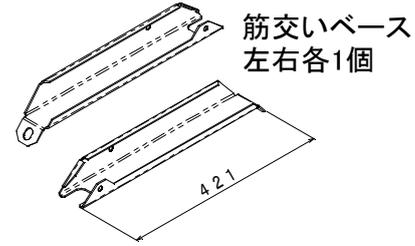
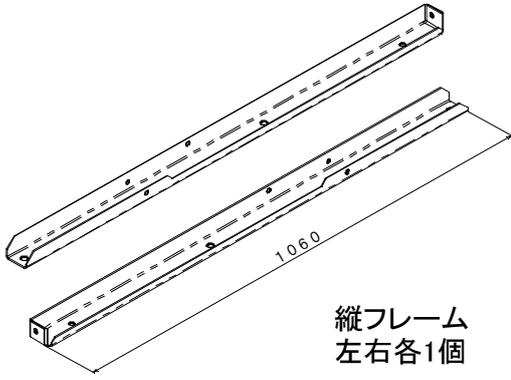
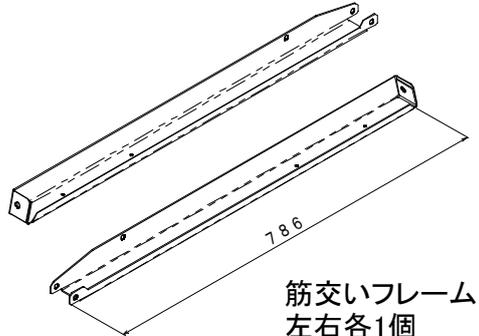


HT-KTG200・KTG250(壁付けタイプ)組立説明

2013.2 改訂版

部 品 表	 <p>横ベース 左右各1個</p>	 <p>筋交いベース 左右各1個</p>
	 <p>縦フレーム 左右各1個</p>	 <p>筋交いフレーム 左右各1個</p>

ビス類

 <p>M12×70アンカーボルト 4本</p>	 <p>M8×20座付きボルト 14本</p>	 <p>M12×30座付きボルト 4本</p>
 <p>ボルトキャップ 4個</p>	 <p>M8座付きナット 14個</p>	 <p>M12座付きナット 4個</p>

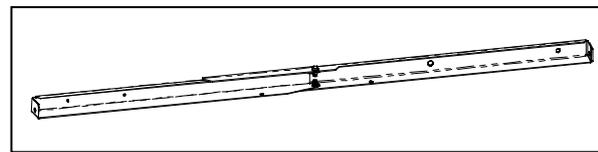
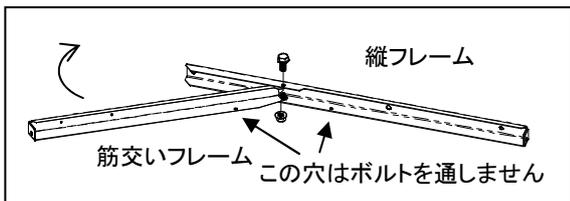
組立方法

初めに、コンクリート製の壁面にアンカー用の穴をあけます。
(コンクリートの厚さは100mm以上必要)
アンカー用の穴位置は、スケールなどで測る方法と、本部材を利用してアンカー位置を決める方法があります。
本部材を利用してアンカー位置を決めるには次のようにして下さい。
(アンカー寸法は次ページに記載)



アンカー位置を決め易くする為、
右上1カ所のみアンカーを固定
します(φ12.7 深さ50mmのドリル穴)

位置
決め

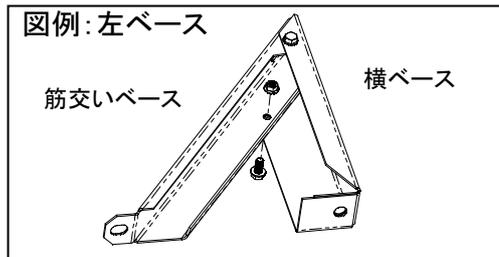
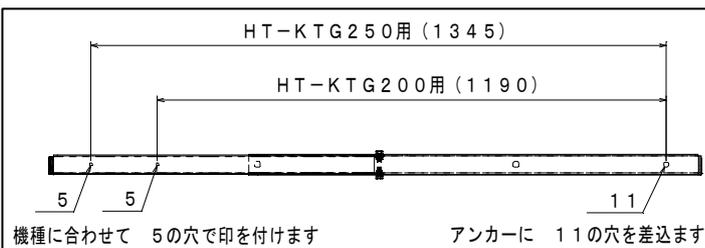


力
め

縦フレームと筋交いフレームをM8のボルト・ナット
で軽く締めます(注:部品に左右がります)

図のように2つの部材が直線になるように
開きます

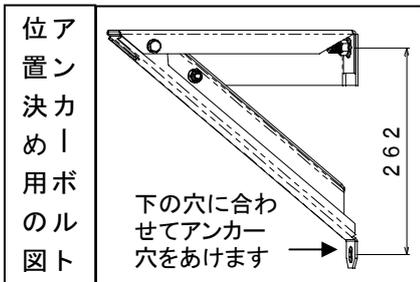
用
の
図



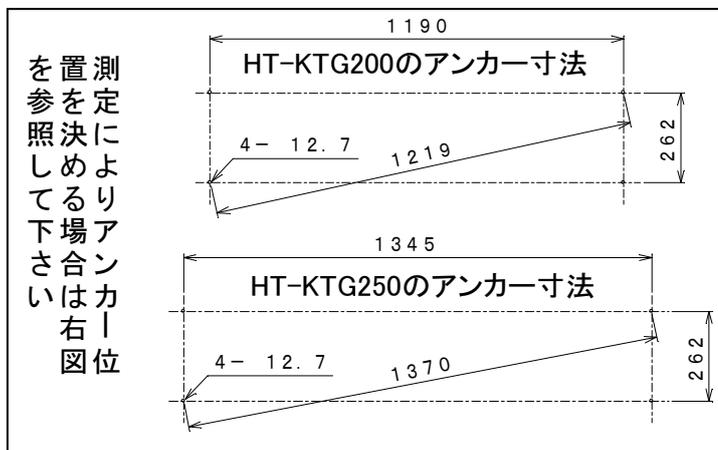
図

固定したアンカーに、上図右側のφ11の穴を差込み、
左側のφ5の穴でアンカー幅を決め、アンカー穴(φ12.7
深さ50mm)をあけてアンカーを固定します

図のようにベース部分をM8のボルト・ナット
で組立ます(ベースも左右があります)



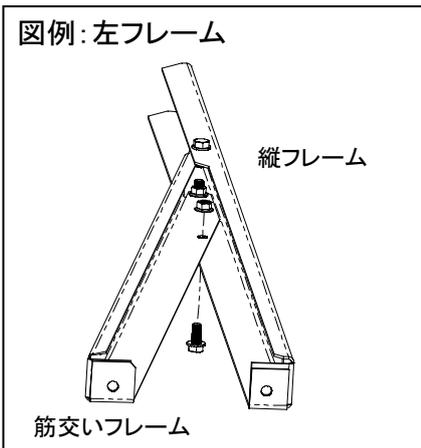
図のように組立したベースの上の穴をアンカーで固定します
ベースを垂直にし、下の長穴の中心に印をつけてアンカー穴(φ12.7深さ50mm)をあけ、アンカーを取付します



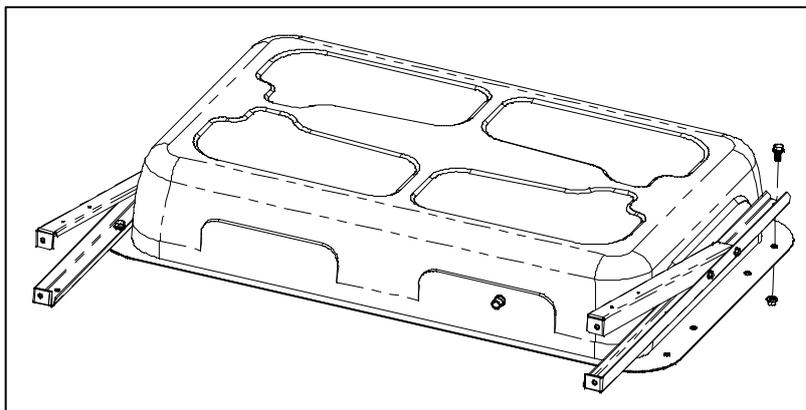
測定によりアンカー位置を決める場合は右図を参照して下さい

本体組立用の図

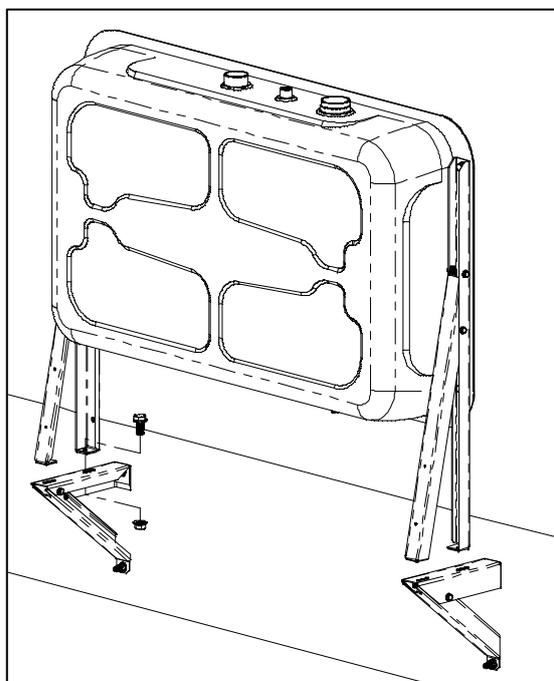
図例: 左フレーム



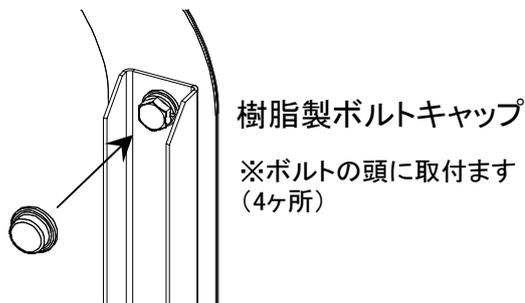
図のような形になるようにM8のボルト・ナットで締め付けます(左右組立します)



左右のフレームをM12のボルト・ナットで缶体に固定します



缶体をベースの上に置き、M8のボルト・ナットで固定して完了です。



樹脂製ボルトキャップ

※ボルトの頭に取り付ます(4ヶ所)

コンクリートの壁面にひび割れなどないか確認してください。アンカー付近にひび割れがある場合や壁面に大きなひび割れがある場合は使用を中止して下さい

株式会社 ホクエイ

本社 〒007-0882
札幌市東区北丘珠2条3丁目2番30号
TEL(011)781-5111

関東(営) 〒362-0021
埼玉県上尾市原市3206-3 江端ビル2F
TEL(048)721-9091